

会 議 録

会議名	令和４年度第２回行政改革推進委員会		
開催日	令和４年１１月１０日（木）	場所	駅前庁舎防災室・会議室
時間	午後１時３０分～午後２時３０分		
出席者	委員：金網房雄委員、浅川榮治委員、鶴岡英樹委員、栗原正志委員、 小山百合子委員、石渡宏委員、瀧田陽一委員、玉造寿則委員、 福島都茂子委員（９名出席） 市側：市長公室 重城市長公室長、品川市長公室次長、安田経営改革課長、 相木係長、大津主任主事、鈴木事務員		
議題	１ 副会長の選任について ２ 令和４年度行政改革推進計画の進捗状況について ３ 木更津市経営改革方針の策定について ４ その他		
配付資料	会議次第 会議資料 ○令和４年度行政改革推進計画進捗状況 ○木更津市経営改革方針（案）		
会議概要	別紙のとおり		

【会議の概要】

1. 開会

○事務局

配布資料、不足が無いことの確認。

会議にてマイクシステムを使用する旨及び使用方法を確認。

委員会の開会を宣言。

重城市長公室長より挨拶。

議事進行について、付属機関設置条例第6条の規定により、金網会長に議長として進めていただく旨、説明。

○金網議長

議事進行の前に、会議の成立状況、会議の公開、傍聴人について事務局へ確認します。

○事務局

委員9名のところ、全員出席であり、会議は成立となります。

また、本日の委員会は「木更津市審議会等の会議の公開に関する条例」の規定により、公開となっております。なお、本日の傍聴人はいらっしゃいません。

2. 議事

○金網議長

議事（1）、副会長の選任について、事務局から説明をお願いします。

○事務局

これまで副会長を務めていただいていた丸橋委員の退任に伴い、付属機関設置条例第4条に基づき、副会長は委員の互選によってこれを定めとなっておりますので、ご意見等ありましたらご発言いただけたらと思います。

○小山委員

事務局で案はありますでしょうか。

○事務局

事務局の案としましては、今までの行政改革推進委員会の経緯を踏まえ、鶴岡委員にお願いしたいと考えております。

○金網議長

事務局より、鶴岡委員の推薦がありましたがいかがでしょうか。

○委員

異議なし。

○金網議長

それでは鶴岡委員に副会長をお願いしたいと思います。一言就任のご挨拶をお願いいたします。

○鶴岡委員

ただいま副会長に推薦いただき、就任いたしました鶴岡でございます。

微力ではありますが、会長を支えながら頑張っていきたいと思いますので、宜しくお願いいたします。

○金網議長

ありがとうございます。引き続き宜しくお願いいたします。

続きまして、議事（２）令和４年度行政改革推進計画の進捗状況について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

行革推進計画につきましては、「木更津市第６次行政改革大綱」に基づき年度毎に、推進項目を挙げております。

令和４年度行政改革推進計画は、令和２年度に新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、計画自体を見直した後の１３項目について、継続して進捗を管理しており、４か年の計画の最後の年となります。

今回は、令和４年９月１日現在における進捗状況について、各所管課より報告をいただいたものについて、主だったものをご報告します。

事業ナンバー１、ＩＣＴの活用による業務改善につきましては、ＲＰＡやＡＩ－ＯＣＲの概要説明会や操作オリエンテーションを全庁的に実施したほか、導入希望課に対してアンケートを行い、新規導入に向けたヒアリングを行っています。

事業ナンバー２、窓口手続きの簡素化につきましては、申請書などの記入の手間を軽減し、書かない窓口、待たない窓口実現のため、令和４年５月３０日にスマート窓口システムを導入しました。さらなる効率的な運用に向け、市民への質問項目の見直しや、待ち時間を活用した手続き内容の２次元バーコード化を促すなどの改善を図りました。

事業ナンバー４、情報発信力の強化につきましては、民間事業者のサポートを受けて情報発信媒体の特性を活かした発信に取り組んでおり、市制施行８０周年の節目に伴い、木更津ＰＲ大使や木更津ふるさと応援団の皆様にもご協力いただきながら、情報発信強化を図っています。

事業ナンバー８、働き方改革の促進につきましては、時間外勤務時間は前年同時期に比べ、約２，０００時間の減となりました。またテレワークに使用するＵＳＢ Dongleは前年同時期に比べ、約倍の使用回数となっており、新型コロナウイルス感染症対策に加え、ワークライフバランスの向上に寄与していると考えられます。

事業ナンバー１２、地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の活用につきましては、９月１日時点で３件の１，４００万円となっており、市ホームページや商工会議所が発行する商工きさらづ等への掲載、まちづくり担当者協議会などにおいて、再度周知とＰＲを行っています。

資料には、その他10項目を含む、全15項目の進捗状況を記載しております。

また、今後の予定といたしましては、本日いただきましたご意見等を踏まえ内容を調整し、1月22日に開催します総合政策会議にて報告後、市公式ホームページ上で公開します。

○金網議長

質疑等あればお願いします。

○石渡委員

資料9ページ、「働き方改革の促進」指標②、自己申告書で担当業務について「やりがいがある」と答えた職員の割合が、目標値よりも低く、他のページを見ても、50%台のところはここだけなんです。

このやりがいがあると答えた職員の割合が58%というのは、単に時間外勤務のことではなくて、市役所に勤める方たちの根本的な思いが何かあるような気がします。

やりがいがあると答えたことが少ないということは、どういう認識なのか、時間が長いのか、それとも市役所の職場体制とか、ご自身のポジションが適切でないのか等、事務局の見解をお聞きしたいと思います。

○事務局

自己申告は年1回、職員向けに行っているところですが、恐らく新型コロナウイルスの感染症の影響により、イベントを構築し準備を行ったにも関わらず、事業が中止・廃止となり、達成できなかったということが多々ございましたことから、やりがいが欠落したことが理由の一つになるのではと考えております。

○石渡委員

確かにコロナ禍等で仕事を思い通りできないということもあるとは思いますが、私の経験上やはり何か他にあるのではないかとと思います。

もう少し詳しいアンケートをとって、根本的な働く姿勢や体制に満足しているのかどうかについて調べ、改善していくことが、市役所が活性化する根本になるんじゃないかと思います。

○事務局

ご意見ありがとうございます。

確かに委員のおっしゃる通り、さらに詳細なアンケートについて、主管課である職員課と協議しながら、検討したいと考えております。

○金網議長

質疑終局と認めます。

議事（2）令和4年度行政改革推進計画の進捗状況について、承認ということでよろしいでしょうか。

○委員

異議なし。

○金網議長

承認と認めます。事務局は本日の審議結果を受けて所要の調整を加えてください。

次に、議事（３）、木更津市経営改革方針について、事務局から説明をお願いします。

○事務局

昭和６０年度に第１次行政改革大綱を策定して以来、例年３か年から４か年に渡る、行政改革の目標や方向性等を示す行政改革大綱やプランを策定してまいりました。

平成３１年度から令和４年度にかけて取り組んできた第６次行政改革大綱においては、木更津市総合計画第２次基本計画に示す様々な施策を行政改革の視点から支えるため、これまで積み上げてきた行政改革の取組みの効果を、より一層確かなものにするための方向性として策定しました。しかしながら令和２年、新型コロナウイルス感染症の拡大により、社会情勢や本市を取り巻く状況も一変しました。

持続可能な自治体基盤を作るため、ニューノーマルに備えた新たな自治体経営にシフトすることが必要との認識から、本市が有する「ヒト・モノ・カネ・情報」の４つの行政資源に加え、市民と市の協働をさらに推進し、市民が求める質の高い市民サービスの提供に向けた経営改革の取組を進めることを目的として、今までの行政改革大綱に代わる位置づけとして、この度「木更津市経営改革方針」を新たに策定するものでございます。

方針の位置づけですが、イメージ図記載のとおり、基本構想に掲げる市の将来都市像の実現に向けて、「木更津市第３次基本計画」及び「木更津市ＤＸ推進計画」と相互に連携し、持続可能な地域を加速度的に推進するための自治体経営を示すものです。

「計画期間」は、木更津市総合計画第３次基本計画と同様の令和５年度から令和８年度としております。

先述した「ヒト・モノ・カネ・情報」の４つの行政資源に「協働」を加えた５項目を当面の方針の柱と位置付けております。

「ヒト」につきましては、職員の能力向上により組織力を高めることで、複雑高度化する行政課題に適切に対応できる人材の育成に取り組めます。

「モノ」につきましては、本市が有する公共施設等の資産を貴重な経営資源と捉え、公共施設等総合管理計画や公共施設再配置計画第２期実行プランに基づき、引き続き公共施設マネジメントに取り組めます。

「カネ」につきましては、財政の中期的な見直しを検討の上、財政フレームを策定し、安定した自主財源の確保及び経常的経費の抑制に務めることで収支の均衡を図るとともに、持続可能な財政運営に取り組めます。

「情報」につきましては、令和４年３月に策定した木更津市ＤＸ推進計画を推し進め、デジタル技術を活用したツールを導入することで、良質な行政サービスを提供いたします。

また行政情報をはじめとする様々な必要な情報が、必要な人に伝わる効果的な情報発信を目指します。

最後に「協働」につきましては、少子高齢化や新型コロナウイルス感染症の拡大などの様々な要因により、地域社会の構造が大きく変化していることから、市民と行政が相互の不足を補いあう、協働によるまちづくりを推進します。

これらの方針を具現化するにあたり、各項目で詳細な取り組みを定め、包括的な行政改革の取組として実施していきます。

「ヒト」につきましては、人材育成、定員管理、ワークライフバランスの実現を掲げ、職員個々の意識改革やスキルアップ、時代の要請に応えられるような柔軟なジェンダーにとらわれない組織運営を謳っています。

「モノ」につきましては、資産の有効活用、公共施設再配置計画の着実な実行を掲げ、限られた資産の効率的な利活用や施設の長寿命化に向け、施設の更なる魅力の向上や、PFI、指定管理者制度の利用などを行い、コスト縮減や行政サービスの向上と効率化を図ります。

「カネ」につきましては、歳入確保対策、歳出削減対策を掲げ、基金の効率的な運用や使用料・手数料の是正化、ふるさと応援寄附金の確保や国・県の補助制度の積極的活用、また業務の可視化による事務事業に係る経費の削減などに努めます。

「情報」につきましては、ICTの活用による業務改善、行政手続きのオンライン化、木更津市DX推進計画の実行、情報発信力の強化を掲げ、市民及び職員の手間や負担の軽減、効果的な情報発信の実施などを目指します。

最後に「協働」につきましては、地域自治の推進、市民活動の支援を掲げ、地域まちづくり協議会の市内全域での設立や市民活動団体が活動しやすい環境作りに努めます。

今後の予定といたしましては、総合政策会議を経て、市議会に報告する予定となっております。

なお、各年度における個別の取組みについては、仮称ですが「経営改革推進計画」として所屬ごとの取組を整理し、年度ごとに進行管理を行い、目的・目標を明確化していきたいと考えております。

○金網議長

質疑等あればお願いします。

○石渡委員

協働というところが、新しく加わったということで、市民としては非常に大事なところだと思います。やはり市民の声を聞くということが市の姿勢の根本になれば、様々なシステム業務改善を図っても、本当に市民に根差した、行政改革ができないと考えています。

そんな市民の声をどのように吸い上げるのかについてのご説明をお願いします。

○事務局

例えばシステムでしたら、「らぶナビ」（スマートフォンアプリ）がありまして、道路で陥没や

轍になっている箇所、グレーチングが取れてしまっている部分等の連絡をらづナビから行うことができ、年間数1,000件以上は連絡を受けていると聞いております。

また広報誌やホームページ、各種SNS等でも、市民の方からのご意見をいただいているところであり、あらゆる手段、選べることができるような体制は整えている状況でございます。

○石渡委員

お年寄りの方、情報環境が整っていない方、知らない方もいらっしゃるして、十分に市民の声が反映できないような傾向もあると思うんですね。

ですから例えば市役所に、常に市民の声が聞けるよう、市民が一番意識する場所に目安箱や用紙を用意するとか、市民の声が反映できるような環境を整えていただければ、誰もが市政に参加できるようになるのではないかと思います。

○事務局

昨年度から地区担当者制度を導入いたしまして、部長職以上を除く全職員が、各地区町内会の方に専属の担当職員として入っております。

要望等は町内会長等を通じて地区担当職員から情報として集約させていただいているところでございます。

またデジタル的な部分ですと、220以上の自治会の町内会長にタブレットを配布しておりますので、そこからも情報の集約を図らせていただいております。

○石渡委員

誰もが声を反映できるような、目安箱のようなものを設けることはできないのでしょうか。

○事務局

当課ではありませんが、所管課の受付に、ご意見をいただく紙は置いてありますが、より市民のみなさまの目につくような配置等について、所管課に申し伝えたいと考えております。

○金網会長

木更津市経営改革方針と、それに基づく個別計画を毎年作成するかと思うのですが、今後の具体的なスケジュールはありますか。

○事務局

こちらの経営改革方針につきましては、3月議会にて常任委員会協議会及び議員全員協議会に報告として挙げさせていただきたいと考えております。

また個別計画については、まだ内部で詰めておらず申し訳ございませんが、例年のスケジュールに従いまして、3月の議会で報告できるように、準備を進めて参りたいと考えております。

○浅川委員

この木更津市経営改革方針のうち、人材に関しては一番肝のところであり、どのように人材教

育をしていくかという問題があるかと思いますが、先程のやりがいがあるという人が58%ということは、逆にやりがいがないという人が42%なんですよね。

今やりがいがないっていう人に対し、やりがいがあるようにするための方策として人事評価制度や各種研修の充実っていうことは書いてあるのですが、本当にこれでこれからの業務改革ができるのでしょうか。

○事務局

やりがいがないと考えている職員の理由を個別に意見として聞いてみなければ、その先どのような対策が有効なのかは、考えることが難しいと思っております。

可能であれば今回個別にアンケートを検討してみたいと思っております。

○浅川委員

例えば業務の自分が行っている業務の目標管理のような、自分がどこまでやれば市の職員として達成感があるか、達成度を測る目標の尺度はあるのでしょうか。

○事務局

達成度というものにつきましては、人によつての感覚という部分が大きいように感じておりますが、手法の一つとして、今年度実施するスケジュールについて各課に作成をいただきまして、それに基づいた進捗管理等を行っていただいております。それによつて自分の仕事を業務がいつまでに何をどれくらいやればいいのかが見えてくるのではないかと考えております。

また併せて業務マニュアル等の作成に基づきまして、暗中模索で進めるのではなくて、自分の業務があとどれくらいで終わるのかを見えるようにすることで、達成度がある程度得られるのではないかと考えておりますが、先述のとおり人により様々な感覚があると思います。

今現時点では一つの指標としての設定が難しいところではございますので、できるところから少しずつ進めて参りたいと考えております。

○瀧田委員

やりがいがあるかどうかというこの質問自体が非常に漠然としたものだと思います。

先程事務局から説明があったように、個人によつて違つたり、感じ方が違つたりするので、働き方改革の促進がなされているかという中で、この項目がある理由は何でしょうか。

時間は減つたけど、やりがいも減つてないかどうかを確かめるために、この項目があるという捉え方でよろしいでしょうか。

○事務局

自己申告書でやりがいがあるかどうかという質問に合わせて、職場の雰囲気や、能力的に業務が難しいか等、複合的にいくつかの質問をしており、その中の一つとして、やりがいがあるかどうかというところを聞いております。

時間外勤務の時間数が減るという項目につきましては、ライフワークバランスの推進というところでの指標であり、やりがいがあるという項目につきましては、やりがいを持って業務を推進

することで、よりよい効果がえられるといったこと等もございまして、働き方改革の促進の一つの指標として取り入れています。

○寫田委員

人材を確保するということは、これから先とても大事なことだと思うので、給料を上げる等も含めて、木更津市に良い人材が集まり、そしてその人たちが行政運営を行うことによって、木更津市自体で若者が育って、進んでいきたいと思える市になるかと思うので、気持ち的な面だけじゃなくて、他の面からのアプローチもあっても良いのではと個人的には思いました。

○事務局

ご意見ありがとうございます。

○鶴岡委員

この木更津市経営改革方針の中では防災対策が全然出てきていませんが、元々この計画には載せなくていいものなのか、それとも後程入ってくるものなのか、お伺いします。

○事務局

昨年度でいいましたら、デジタルやＩＣＴツールに関する木更津市ＤＸ推進計画や、第二期実行プランを策定した木更津市公共施設再配置計画等、現在様々な個別計画が充実しております。

防災に関しましても、木更津市地域防災計画があり、昨年度改訂を行いました。協働に防災も兼ねている部分はありますが、個別計画が充実したことによって、大きく記載しなかったものでございます。

○石渡委員

木更津市の将来都市像として「魅力溢れる創造都市木更津」が挙げられていますが、素晴らしい都市像だと思いますし、木更津市は自然環境に恵まれて、東京湾岸の人と町を結ぶ非常に重要な役割があると認識しておりますが、そんな中で洗練されていないという印象を受けることもあります。

例えば東口等の駅周りにごみが散乱していて、美化作業が行き届いていなかったり、かなり寂れていたり、設置してある看板も寂れて何が書いてあるか読めない状況なんですね。

駅前の活性化に向けては、看板の修繕や駅前の清掃等、そういった取り組みが本市には必要ではないかと思えます。

○事務局

掃除等については、マラソンや港まつり等、イベントの前には行っておりますが、定期的に実施できるような仕組みに向けて、所管部にこのようなお話をいただきましたということを申し伝えたいと考えております。

また観光看板や目印的なものにつきましても、所管課に申し伝えたいと考えております。

○金網議長

質疑終局と認めます。

議事（３）木更津市経営改革方針の策定について、承認ということによろしいでしょうか。

○委員

異議なし。

○金網議長

承認と認めます。事務局は本日の審議結果を受けて所要の調整を加えてください。

次に、議事（４）、その他について、事務局から何かありますか。

○事務局

特にありません。

○金網議長

議事の終了に伴い、議長の任務を終了します。

3. 閉会

○事務局

委員会の閉会を宣言。

上記会議録を証するため下記署名いたします。

令和 4 年 11 月 2 日

署名人 金網 房 雄